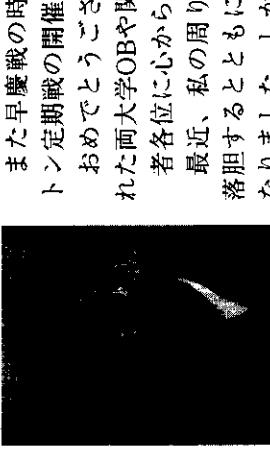


## Greeting from KEIO

### 部長挨拶

慶応義塾体育会バドミントン部部長 高宮利行



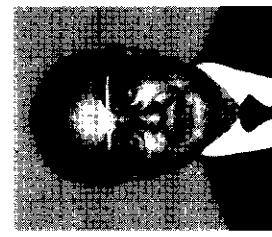
また早慶戦の時期がめぐつてきました。第47回バドミントン定期戦の開催おめでとうございます。これに向かって努力を重ねて来られた両大学OBや関係者各位に心からお礼を申し上げます。

最近、私の周りで計報が増えました。とても残念なことと落胆することともに、自分の番もそのうちはだなと感じるようになります。しかし、スポーツの精神は、死とは一番遠いところにあると思います。日ごろの苦しい練習によって鍛えられた肉体と精神力をもって、勝負に臨み、その結果が好プレーと勝利に終われば、これ以上のことはありません。現役もOBも熱戦を期待しております。

今年は本塾の体育会蹴球部が創立100周年を迎えて、大学選手権獲得に向かってはりきつています。我らバドミントン部も一歩一歩上を狙って精進し、秋のシーズンに備えていたいと思います。

### 会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 吉田格磨



今年6月より三田バドミントンクラブ金原俊次前会長の後任として会長に就任し、最初の慶早定期戦となります。

私の現役時代から第11回定期戦までは、早稲田大学に負け知らずで圧勝しておりました。しかし、私が監督になった1年目（第12回）の定期戦で初めて黒星が付き、私の監督時代は勝つことが出来ませんでした。

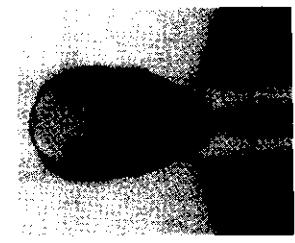
当時は、リーグ戦に於いては2位～3位の戦績で負ける事など全く考えていませんでした。これがが油断というか、自惚れが今でも残念で淋しい思い出であります。その年のインカレでは、当校は4年ぶりに決勝進出。慶早定期戦は何かと両校にとって、良いにつけ悪いにつけ転機になつていると思われます。

そして、今年は一部優勝校の早稲田大学に立ち向かう現役選手は大変幸運です。相手には不足がありません。小泉先生の名言通り「練習は不可能を可能にする。」精神で合宿での成果を存分に発揮され、勝利を収め、美酒で乾杯したいと思います。最後にこの定期戦の開催にあたり、ご多忙中にもかわらずご協力頂きました両校OBはじめとして関係者各位の皆様に感謝するとともに厚く御礼申し上げます。

## Greeting from WASEDA

### 部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部長 加藤 勇



第47回慶早バドミントン定期戦を迎えたために、良い試合を今年も期待します。

さて、早稲田大学の部員諸君、春季リーグ戦では男子の優勝おめでとう。やはり優勝は良いものです。また、女子も良く戦ってくれました。次回の秋季リーグ戦では男子の優勝を、そして女子は1部への返り咲きを期待します。

話題は変わって、両校の部員諸君に「学問」とは何かを聞かれてみたいと思います。僕は学問とは人がいかに楽ができるかを考える事と考へます。すなわち、いかにしたら、人が楽しく、平和に、人間らしく生活できるかを考えたいのです。僕は学問とは人がいかに楽ができるかを考える事と考へます。試合中にはこんな事を考えていてはいけません。鍵闇を析る！

一人間は万物の靈長と自ら称している、他の動植物それを認めたと言う話しづら聞いたことがないが、そのように我々は教えられている。その万物の靈長が「学問」を上述の様に考へている。これは、どの学部に属するかと言う問題ではない。また、これを追求する本人が楽を出来ると言うことでもない。諸君にもこの道を追求してみて欲しい。バドミントンを通して、諸君の受けている講義を通して。たまには、こんな事を真剣に考えてみると自分自身楽しいと思いませんか？試合は真剣勝負です。試合中にこんな事を考えていってはいけません。

### 会長挨拶

福門バドミントンクラブ会長 篠地利明

平成11年この慶早定期戦も47回目になるが、今回先ず三田クラブの金原会長の計報を述べなければならぬのは誠に残念である。私も金原さんは、選手時代から存じあげており、その温厚なお人柄は常々から尊敬致して参りましたが、この度、この様なこととなり、心からご冥福をお祈りする次第です。

さて今年、我が部の春リーグ戦は、男子は接戦の連続ではあつたがリーグ優勝ができ、現役、OB、OGが大勢参加して、昨年の春に統いて祝勝会で美酒を味合う事が出来た。一方女子も、大いに健闘したが、残念ながら、秋は二部から捲土重来を期しての活躍を期待している。

我が部の誕生してからの年齢は、この定期戦の回数と同じで、あと3年で50歳となり、大先輩の慶応とは大分年輪差はあるが、これから長い歴史を考えると、やっと根付いてきた時期であり、この根を枯らさないよう頑張つて行きたいと思っています。

今年もまたOB、OG、の皆さんには旧交を温め合い大いに楽しんでもらい、現役諸君は秋のシーズンの幕開試合として、全力を出し切った若々しい元気ある試合を開いてもらいたい。両校の健闘を期待する。

第47回早慶バドミントン定期戦開催に際し、心よりお慶び申しあげます。今年は早稲田にて開催されますが、現役諸君の元気でスピードあるプレーを期待するとともに、OBの方々の変わらぬ若々しいプレーを拝見できることを楽しみにしています。

対戦する早稲田大学は、今春の関東大学リーグで、男子が1部で見事に優勝、女子も1部で強豪相手に健闘するなど、めざましい活躍をしています。一方、当部は男女とも同リーグで3部残留となり、2部・1部への道のりは、未だに厳しく険しいものとなっています。今年で監督3年目となります、この状況を打破すべく、有力選手の加入、日頃の鍛錬による各個人の実力強化を課題に、チーム一丸となり取り組んでいます。

早慶戦では、多くの名勝負が繰り広げられていますが、バドミントンの勝ち負けだけでなく、それを超えた感動を与えてくれます。この伝統ある絶好の機会に、日頃の練習の成果を十分に発揮し、積極果敢に挑んでいく所存ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

最後に、早慶両校バドミントン部の更なる発展と、両校の友好が更に深まるることを祈念いたします。

## KEIO VS WASEDA

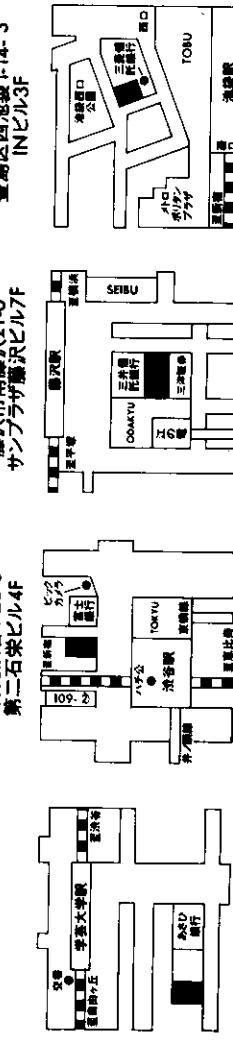
### バドミントンプロショップ ウェンブレー

**学芸大学**  
03-3716-2626  
目黒区駒沢3-3-4

**涉谷店**  
03-3409-6622  
渋谷区渋谷1-25-6  
第二石井ビル4F

**墨沢店**  
0466-76-7272  
墨沢市南郷21-6  
サンプラザ墨沢ビル7F

**池袋店**  
03-5952-7070  
豊島区西池袋1-14-3  
INビル3F



今年も早慶両校の現役、OBが一同に会し、競い合う早慶戦がやつてきました。伝統あるこの定期戦に、監督として戦えることは、大変光栄であります。早慶戦を前に春季リーグ戦で男子は優勝するというすばらしい結果を残しました。女子は6位と、十分な結果を残すことができませんでしたが、秋には復活して、持てる力十分に発揮し、男女共に健闘してくれることでしょう。

今年も全員で一丸となり、是非勝ちたいと思います。しかし、独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は、過去、いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついてきました。気合い負けず、日頃の練習の成果を發揮し、早稲田らしく、悔いのないプレイをしてもらいたい。そして、秋のリーグ戦、インカレへと勢いをつけて臨んでもらいたい。慶応の現役、OB諸君と共にゲームを展開し、より友好が深まることを望みます。

## WASEDA VS KEIO

### 祝 早慶定期戦

〒160 東京都新宿区西早稲田1—8—24	アーチ
早 大 東 門 前 大 脇 通 り	オ
TEL 03 (3202) 7 8 4 6	マーク・ワッペン・旗・腕章
FAX 03 (5273) 8 2 8 5	ギ

## 畠岡 和彦

慶應大学に入学するためには、田舎より上京して早27年過ぎました。卒業後、そのまま東京に就職して、仕事の都合にて一時バドミントンからは遠ざかっていましたが、また時々当時の先輩や現役の後輩と一緒に汗を流せることが出来るようになります。1年に1度は早稲田の先輩や後輩にもお目にかかる慶早定期戦を楽しみにしております。

私の現役時代は、大学1年の時に早稲田大学に15-0で完敗した苦い思い出があります。当時は早稲田大学に連敗中で、現役時代はどうとう勝つことが出来ませんでしたが、卒業して2年後の定期戦で久しぶりに早稲田大学に勝つことが出来ました。苦しいときにも、応援して頂いた諸先輩や練習の成果を発揮した現役諸君の頑張りがありました。

近年、我が塾も部員の減少に頭を痛めており、果たして慶早戦が出来るのか?と心配しておりますが、志を持った新入生多数が入部してくれ、ほっと一息づきました。  
今後は、1人1人のレベルを森下監督を中心に行き、近い将来早稲田大学とリーグ戦で対戦出来るようにして行きたいと思います。その前哨戦として、慶早定期戦での現役諸君の頑張りに期待したいと思います。



## 茂木 一秀

第47回早慶定期戦の開催おめでとうございます。

早いもので卒業して7年が経ち、毎年この時期になると様々な思いがよみがえります。1年生の時は夏合宿での早慶戦メンバーフィニッシュで最後に負けて出場できませんでした。その時はたかが定期戦だと思っていたのですが、実際にチームメイトや多くの諸先輩方に応援されてプレーしていく選手や早慶戦独特の雰囲気を見て、非常に悔しい思いでいっぱいになりました。その後の悔しさがあつたからこそ、川の声出しランニング、記念館前ロータリーの罰則回しを始め厳しい練習に耐えて切り切れたのだと思いません。

次の年には念願の単複出場を果たし、試合前の「若き血」を聴きながら基礎打ちをした時の胸の高まりは今でも忘れません。当時リーグ戦では格上の早稲田に12年ぶりに慶應が勝ち(もちろん私も勝ちました)、みんなで喜び合ったことは、これまでのハドミントン人生の中でも最高の瞬間でした。翌年も慶應が勝って連勝し、慶早戦を2勝2敗の5分で現役生活を終えるという貴重な経験もできました。

最近では早慶の実力差が開いていることは否めませんが、現役諸君には参加していることに誇りを持ち、全力でぶつかってほしいと思います。両校の闘志あふれる熱い試合を期待しております。

## 山 廉 夫

第47回早慶バドミントン定期戦おめでとうございます。我々現役時代は慶早戦も13、14、15、16回で伝統あるという形早いもので卒業してから30年。我々現役時代は慶早戦の部類であったと思います。それが今では47回と答詞も使われていますが、比較的若い対抗戦の部類であります。同じ事が歴史を一にする早稲田大学バドミントン部にも伝統ある定期戦といえるでしょう。同じ事が歴史を一にする早稲田大学バドミントンに対する愛情と惜しみない支援がその背後にあります。

さてもう一つの名実、即ち現在についてありますのが、初期の慶應連勝から、その後の早稲田連勝といい、それをもワシントンサードゲームであり、互いに刺激し触発し合い成長すると言う慶早戦本来の理想が実現されないのは残念でなりません（それも日本のトップレベルに於いて）。我々の頃とは違い競技人口の大幅増加、低年齢からのプレー開始は格段のレベルアップとなつてます。リーグ戦試合形式の試合数減は少數の優秀プレイヤーでも上位を可能にしたと思いませんが、ハイレベルな試合のみを目指すのか、それとも試合数を多くして視野を広げるのが良いのか。ちょっとややこしいところへ入り込んでしまいましたが、学生諸君には、慶早両校の伝統と理想に恥じないフェアでベストを尽くしたプレーを見せて頂ければ名も実もある慶早戦となりますので期特致します。

学生の頃の懐かしい名前、トヨダ、ヨネヤマ、サンバタ、カワサキ、アカルトン、ゴーセン。たかが四年、されど四年、人々同じからず。両校の選手諸君。今を思いきり走り抜けて下さい。そして慶早バドミントン定期戦が益々隆盛、発展することを祈念申し上げます。



早稲田大学人間科学部 平成7年卒

## 山 口 潤

第47回慶早バドミントン定期戦を迎えられ、心より祝い申し上げます。再び学生に戻った今では学校で新しく部をつくり、忙しい東京を離れ、はや5年となります。再び学生に接するぐらいとなつてしまします。授業の合間に繰って車らストレス発散としてバドミントンにて多くの大きさは身に染みています。が、早稲田大学バドミントン部とともに、慶早戦から得たものの大いさは身に染みています。私が慶早戦を初めて目の前にしたのは日吉記念館での第40回大会でした。前日の練習の途中で当時主将だった藤本さんに呼ばれ、神妙な面持ちで今回は出場できないことを告げられたときのこととは今もはっきりとよみがえってきます。入部したてで慶早戦のことをよく分かっていないなかで私はOGの方々が熱く語つてくださったことを思い出されます。慶早戦の日が近づくにつれ周囲の空気からひしと伝わってくる伝統の重みからコートにたつことは恐れ多いとすら感じました。しかし、選手達の誇り高い姿を見ることで出場できることをお祝い申します。

リーグ戦とは違ったあの雰囲気と緊張感。私は“あの”雰囲気というのが好きです。“あの”というだけです。それには現役の皆さんと共に運の空気を感じることができます。ひどつひとつ単、複に重みがある、いわば総力戦とともに、部が一丸となることができるからです。ひどつひとつ単、複に重みがある、いわば総力戦の成果を發揮するところとともに、部が一丸となることができます。個々がこれまでの厳しい練習の成果を発揮するところとともに、部が一丸となることができます。個々がこれまでの学ぶことのできる大会です。皆さん、必ず勝ちにこだわってください。体育会といふ一種の世界でこれまでいた独特の慶早戦。今日のことはこれから先ずっと語り継がれることになります。健闘をお祈り致します。そして思う存分おいしいお酒を飲んでください。体育会といふことになります。慶早両校が交流し、十分に友情を深めてください。最後に大会を準備されてきた主務、副務の方々をはじめ裏でお骨折り下さいました方々にお礼を申し上げます。

## 环 賢

数々の名勝負が繰り広げられ、多くのドラマを生み出してきた伝統ある慶早バドミントン定期戦も今年で47回目を迎え、無事開催された事に大きな喜びを感じるとともに、このように前主将として寄稿できることを嬉しく思います。

私の初の慶早戦は塾高3年の時でした。バドミントンを本格的に始めたのが高校2年の秋だった自分にとって、この大会は本当に大きすぎる晴れの舞台でした。しかも相手は一番手の主将で、団体では勝利を収めたものの結果は“惨敗”でした。そして今まで味わったことのなかつたその大きな悔しさが、大学の体育会への道へと導いたのです。その後の大学時代の慶早戦にも多く思い出がありますが、慶早戦が今の負けず嫌いな自分を作り、何物にも代え難い貴重な財産を得る事ができた体育会中心の大学生活を提供してくれたのです。

このように、私には特別な思い入れるが慶早戦にはあるのですが、是非、現役選手諸君にも一生自分の財産になるような試合を演じてもらいたい。試合であるからには勝負にこだわるのは大前提ではあるが、レベルにこだわらずに、自分の全てをぶつけさせてほしい。そして願わくは、勝利の美酒と共に味わい、秋季リーグへの弾みにしてほしい。

最後になりましたが、今大会を運営する人々に感謝するとともに、慶早両校の御健闘をお祈り申し上げます。



「歴史と伝統」!! 手作りの店  
部員会に! 其の他のパーティーに!



慶應義塾三田キャンパス内  
TEL 03(3453)5971

## 下島洋樹

今年もまた伝統ある早慶バドミントン定期戦が無事開催されることを、心よりお喜び申し上げます。

早慶戦といつて思い出されるのは、その独特の雰囲気や盛り上がり、慶應諸君と試合上での交流です。もちろん勝つことを考えて試合を行っていたわけですが、「勝つこと」ただそれだけではなく、他の試合では感じることのできない、「何か」が早慶戦の中にはあります。また、早慶戦のあとにはすぐに秋期リーグ戦やインカレがひかえており、非常に慌ただしい中での試合ではありますが、この早慶戦での勝利が次に続く試合のステップであつたようにも感じています。早稲田、慶應両校の後輩諸君には夏の厳しい練習で得たものを十分に発揮し、また次を意識し、次につつながるプレーを披露してもらいたいと思います。そして、試合後の「酒」においてももちろん同様です。早慶の交流を深め、かつ互いに負けずに十分飲み合って下さい。最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるよう御健闘をお祈り申し上げます。



花は桜木 バトミントンは早稲田  
彩は紅 米は慶應



今年も伝統ある慶早バドミントン定期戦を無事迎える事になりました。今年で47回という歴史あるこの大会に、慶應義塾の部員として出場できる事を大変誇りとと思うとともに、主将として今年こそはなんとしても勝利をもたらさなければならぬという責任を強く感じております。

春リーグでは、部員9名のうち7名が1、2年生という厳しい状況で臨み、結果3部5位という非常に不甲斐ない結果になってしましましたが、その悔しさをバネに森下監督のもと厳しい練習をこなし、部員全員が春リーグの時よりも、体力的にも精神的にも成長したと確信しております。

この慶早定期戦においてその成果を発揮し、秋リーグに万全で臨みたいと思っております。

最後に、早稲田の諸君、お互いに日頃の練習の成果を十分に出し、伝統ある慶早戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。

そして、我々の戦いを慶早の歴史に刻み込もう。

今年こそ、慶應の底力をお見せします。

## KEIO × WASEDA

ストラシマリーヌ  
スパゲッティ&ハンバーグ



AM.10:00~PM.8:30

定休日 日曜・祝日

横浜市港北区日吉2-2-10

TEL 045-563-9870

今年も慶早バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で47回目となるこの歴史ある大会に主将として出場できることに最高の名譽を感じるとともに、主将として責任も強く感じる次第であります。

さて、我が早稲田大学バドミントン部は今年、春季リーグ戦において男子が昨年に続く一部優勝を果たしました。少ない人数の中、チームワークにより優勝を勝ち得たことは、大きな収穫であります。女子は、残念ながら十分な成績を收めることができませんでした。この経験をバネに秋季に臨むことであります。男女共、春の成績に満足することなく、この夏二度の合宿を経て、秋のシーズンに向けてその実力は一層したものと確信しております。この伝統ある慶早戦において勝利を收め、秋季リーグ戦、インカレへつなげていきたいと思つております。

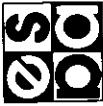
慶応の諸君、お互い日頃の練習の成果を十分發揮し、悔いのないプレーをしようではないか。

最後になりましたが、毎年応援激励して頂いている OB・OGの皆様に厚く御礼申し上げ、第47回慶早バトミントン定期戦が無事開催されることを願つて、主将抱負とさせさせて頂きます。

## WASEDA VS KEIO



# Never Give fight against Keio



株式会社エスパ  
Engineering Systems Practical Aid

東京都墨田区両国 3-21-14  
Tel 03-5624-7231 Fax 03-5624-7232  
代表取締役 細村 悅子 (S60 年度卒)

# KEIO



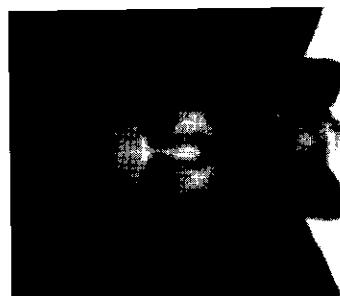
主将 石田 経 4  
昇 慶應

某警備会社に就職内定した現主將。どうやら彼は、今後も警備員として慶應に通うらしい。

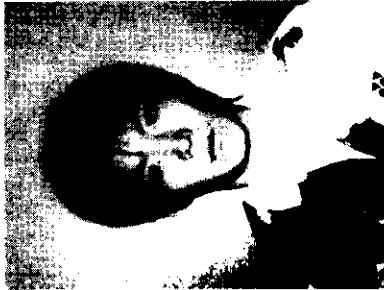


副将 須賀 文 4  
弘子 慶應女子

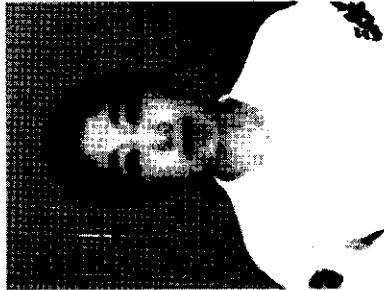
得意の突進で結婚を決めた重戦車。この勢いはいつまで続くのか。新居は壊すなよ。



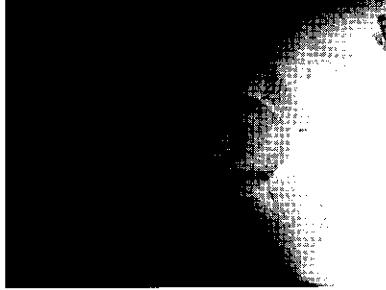
主務  
米谷 香里  
経 4  
慶應女子  
主将同様慶應を  
愛する彼女。愛  
しついでに彼氏  
の卒業に合わせ  
て6年通う事に  
した様だ。



塙本 進介  
経 3  
桐蔭学園  
自ら望んでイバラ  
の道を突き進  
む彼。しかし、  
振り返ると誰も  
いない事に気付  
いたらしい。

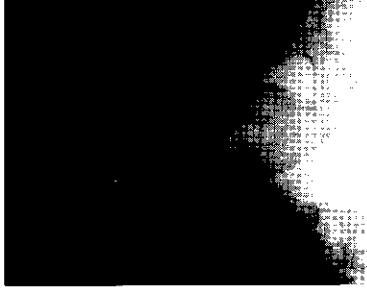


岩部 直子  
環境 3  
園田学園  
街を歩くと異性  
の目が気になる  
彼女。少し目が  
合うと「アンタ、  
ウチに惚れてる  
やろ。」

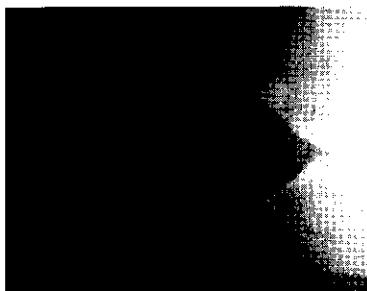


副務  
金丸 敦  
文 2  
桐蔭学園  
妻一筋だった  
42歳。だが、  
自作自演、主演  
女優Nの失業園  
の台本を製作中  
らしい。

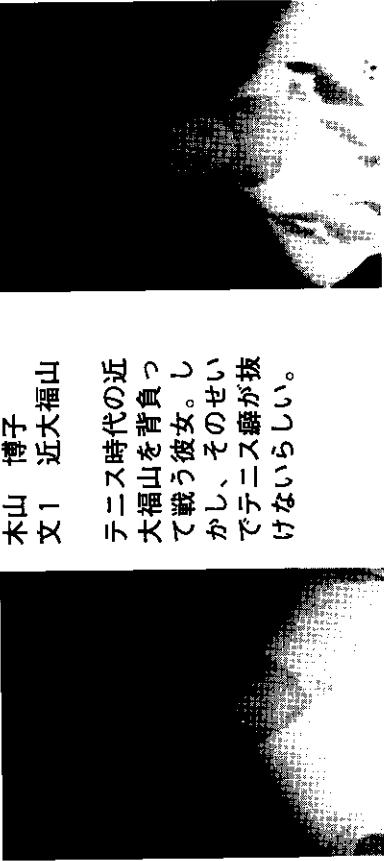
三壁 敏隆  
政 2  
桐蔭学園  
去年は、オフ明  
けに黒人になつ  
ていた彼。今年  
は全く目立たな  
い凡人になつて  
いた。



辻 典宏  
環境 2  
東海  
次期主将確定の  
彼。しかし、次  
期主務があ  
がらず「かつこ  
いい」とお世辞  
を使う。



木山 博子  
文1 近大福山



テニス時代の近  
大福山を背負つ  
て戦うう彼女。し  
かし、そのせい  
でテニス癖が抜  
けないらしい。

近藤 幸司  
文1 藤島

ガンつけながら  
構内を歩く彼。  
この辺りが今は  
亡きファイター  
の後継者たる由  
縁か?



紅山 麻子  
文1

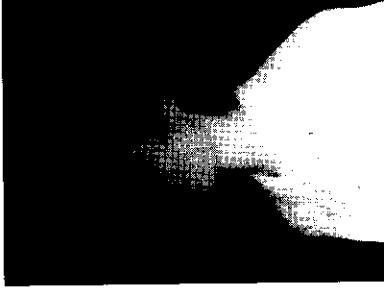
American  
Community  
School

イギリス育ちの  
ベニーちゃん。  
エグい練習に言  
う言葉は「チキ  
ショー！ ××コ  
ロス！」

永島 由紀子  
政1

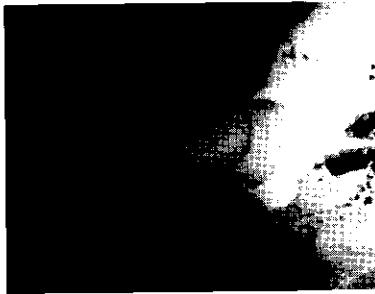
三輪田学園

「ナガシママー、  
宇宙人が好きな  
んだって？俺は  
信じねえよ！そ  
れより、俺どう  
よ？」



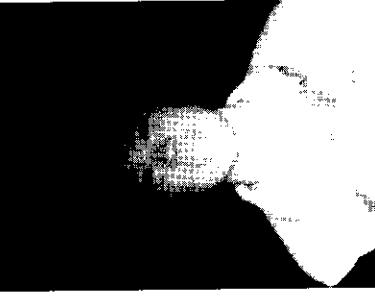
脇森 浩志  
理工1  
桐蔭学園

慶應に入つても  
桐蔭に忠誠を誓  
う彼。今でも彼  
は学ラングッズを身  
に纏う。



居眠り中の女性  
に対して。「見  
えそつす！手  
入れた いつ  
す！」これが彼  
の本当の姿。

田添 亮  
環境1  
長崎北



星合 崇秀  
環境 1 東海

自分に自信のない彼。二言目に  
は「東海のエースでしたよ。東  
海B群で1番でしたよ。」



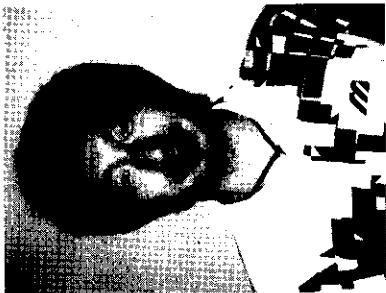
# WASEDA



主将 松本人4 比叡山  
女子高生には目がない彼。NTTに女子高生がいないことを知っているのだろうか。



副将 青木孝徳 常総学院  
可愛い彼女がいるにもかかわらず、連日、彼はパソコン内の「ななこなでし」と「妄想を広げているらしい。」



加藤 耕平 多摩  
理 4



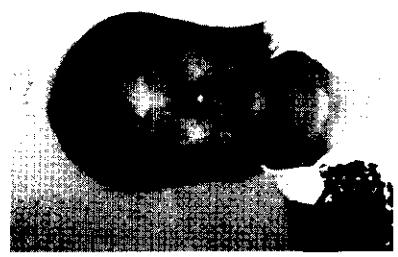
ウエイトで左手  
の中指を縋えて  
いる彼。一度お  
手合わせ願いた  
いものだ。

主務 池龜 志帆  
人 4



・・・テケテケ  
テケテケ・・・  
ワイツ!!

稻村 美紀  
教 4  
桐生市立商



忙しくなつた彼  
になかなか会え  
ず。一人酒に走  
る彼女。しかし  
早寝早起きは怠  
らない。

吉川 勇司  
人 3  
常総学院



ウワキはなしそ!  
I love イヲキ ♥

岩城 崇子 青森南  
人 3



社交的な彼を持  
つ彼女。今日も  
彼女の目が光る。

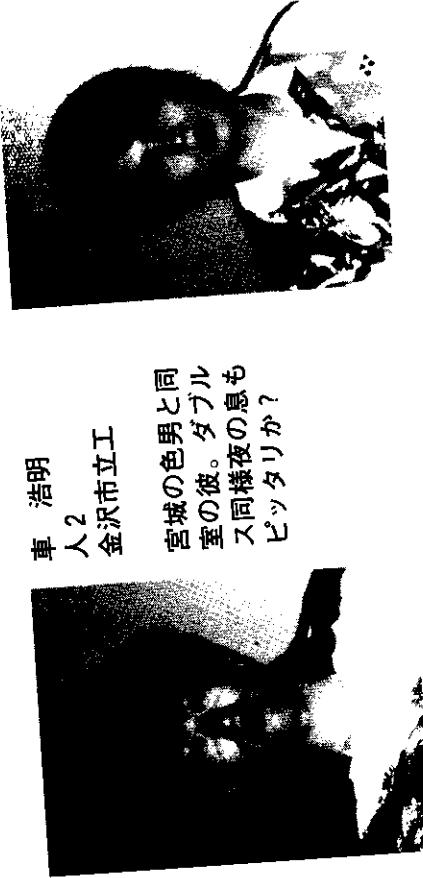
辻井 貴子  
一文 3  
東京学芸大附



徐々に深田恭子  
化が進む彼女。  
最近は本物と見  
分けがつかない  
くらいだ。

車 洋明  
人2 金沢市立工

宮城の色男と同  
室の彼。ダブル  
ス同様夜の息も  
ピッタリか？



板崎 真樹  
教2 関東第一

ついに念願の彼  
女をgetした彼。  
バチスロ以外に  
もはまるものが  
できよかつ  
た。

田中 克典  
人2 岐阜北

馬場に引っ越し  
心機一転。後は  
世話焼き女房を  
持つのみ！



板倉 正弥  
人2 武藏

最近、車を乗り  
回していたらし  
い彼。渋谷の次  
は小手指か？



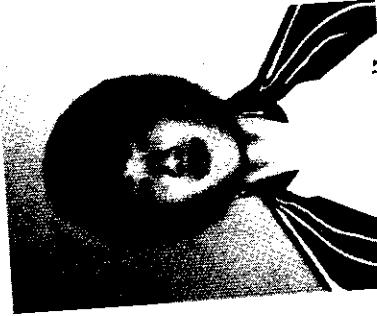
岩脇 史  
教2 埼玉栄

前髪の調子でそ  
の日の気分が変  
わる彼女。いつ  
見ても同じ気が  
するのだが…  
…。

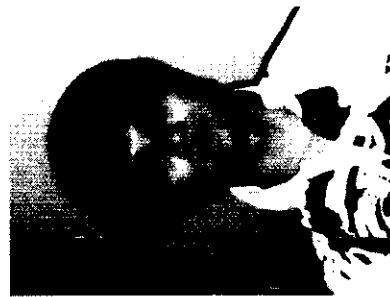


三上 紗由  
人1 宮城県市立工

彼のハイバック  
は天下一品。夜  
の青葉台でも新  
人賞なみのバッ  
クを見せている  
ことだろう。



梅本 修平  
人1 比叡山



彼は早稲田の神  
田利剛。今は外  
人としていきて  
いるらしい。



芝山 誠一  
教1 関東第一

存在自体がギヤ  
グの彼。彼のチ  
ヤイナステップ  
をもう止めること  
はできない。

鈴木 栄介  
理1 大宮



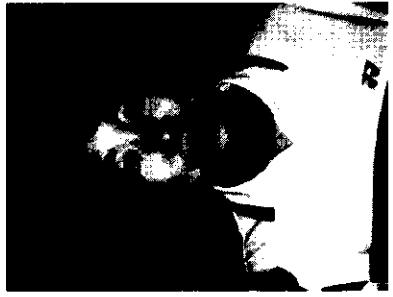
彼の前髪いつも  
カツチリ！彼女  
のガードはより  
ガツチリ！！

加藤 晋一  
政経1 三鷹

何だか工口目の  
彼。マニアのにお  
いを漿わせて  
いる。



指方 真由  
法1 精華女子



酒とタバコを知  
る彼女。早稲田  
の女子部もやは  
や終わりか…  
…？

神明 舞  
理1 国学院久我山

彼女の好みは、  
強くて、アバウ  
ト、関西弁。  
え？もしかして  
…。



# 慶應義塾高等学校バー WINGED DRAGON



部長	耕遠	藤宇佐安	耕雅	藤本	後樹直	後直	田代	廣誠	平太	健伸	之介	康弘	中山	間中	普通部	3年
副部長	長長	藤安	長遠	佐藤	村直	佐直	本代	津川	修	健太	伸之介	之介	大山	中白山	普通部	3年
副主部長	長將	藤安	長遠	佐藤	村直	佐直	本代	津川	修	健太	伸之介	之介	大山	中白山	普通部	3年
副主副主	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	務務	法政大学第二中	3年
副主副主	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	川崎市立白山中	2年
副主副主	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	副副	ロンドン日本人中	2年

**慶應義塾高等学校バドミントン部 主将**

昨年の熱戦から早くも1年が経ち、再び慶早バドミントン定期戦となりました。この伝統ある大会に参加できること、部員一同大変喜ばしく、また誇りに思っています。今年の高校戦は再びOB戦、大学戦と同日に行うという事で、前回にも増した熱戦が期待できそうです。

思えば昨年、我々は慶應の三連覇を目標に掲げ見事4対1で勝利を収めました。あの勝利の感動を胸に、慶應の四連覇をものにすべく、より充実したプレーを目指して、日ごろの練習に、合宿に、高い意識で臨んできました。公式戦では思っていたほど満足のいく結果が得られませんでしたが、自分達の力が明らかに伸びているのを感じる次第であります。

これから迎える慶早戦が何を隠そう我々三年生において高校生活最後の試合になるわけでありますか、公式戦での悔しさ、合宿での苦しみ、その他すべてをこの一戦にかけ全員が持てる力を出し尽し、勝利して、高校三年間のバトミントン生活に有終の美を飾りたいと思います。

最後に学院の皆さん、お互いに今までの練習の成果を存分に発揮し、三年間の締めくくりにふさわしい素晴らしい試合をしましょう。そして高校でのバドミントン生活においての最高の思い出をつくりましょう。



**早稲田大学高等学院バトミントン部 主将**

**土屋 賢史**

昨年の熱戦から早くも一年が経ちました。今年も再び、この伝統ある慶早バドミントン定期戦に参加できることを喜ばしく、また誇りに思っています。昨年、一年と惜敗し、大変悔しい気持ちを味わいましたが、過去の結果にとらわれず、チーム全体のレベルを上げ、昨年以上の結果を出すことを目標にこの一年間練習に励んできました。公式戦においては、様々なことがあり、納得いくものも不完全燃焼で終わってしまったものもありましたが、次の代が上位をねらえるような結果は残せたと思います。「昨年以上の結果」という目標通り、最後の慶早戦を勝利で飾り、高校三年間のバトミントン生活の締めくくりとしたいと思います。

最後に塾高の皆さん、お互いに今迄の練習の成果を十分に発揮し、自分の力を全て出し切り、悔いの残らないような試合をしましょう。そして三年間の締めくくりにふさわしい試合を。